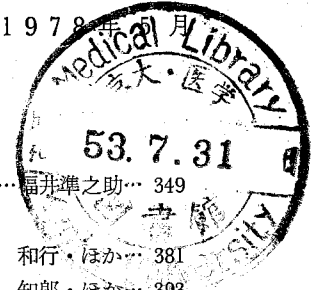


# 泌尿器科紀要

第24巻 第5号

1978



潜在性二分脊椎を有し、脊髄下部の牽引により生じた先天性神経因性膀胱 (いわゆる Tethered Cord Syndrome) の尿水力学的、電気生理学的検査法による術前および牽引除去後の評価……………福井 準之助… 349

長期血液透析患者の臨床的検討

第1編 10年間の患者統計および Blood Access ……………大上 和行・ほか… 381

ラット前立腺におけるエストロゲン結合物質の性状……………榎本 知郎・ほか… 393

前立腺癌患者の尿中ロイシン、イソロイシン排泄について……………河村 信夫・ほか… 401

腎平滑筋腫の1例……………黒田 昌男・ほか… 403

職業性膀胱癌を第1癌とする異時性重複癌の4例……………松島 正浩・ほか… 409

慢性膀胱炎との鑑別が困難であった膀胱上皮内癌の3例……………中野 博・ほか… 417

KES-504 (Estracyt®) による前立腺癌の組織学的変化について

—前立腺全摘除術施行前投与の1例—……………長船 匡男・ほか… 429

複雑性尿路感染症に対する FL-1039 (Pivmecillinam, PMPC) の使用経験……………合林 健一・ほか… 435

## CONTENTS

Urodynamic and Electrophysiologic Studies on Congenital Neurogenic Bladder Dysfunction Caused by Traction of Lower Spinal Cord Segment with Spina Bifida Occulta (so-called Tethered Cord Syndrome) ……………J. Fukui… 349

A Clinical Investigation on the Patients under the Long-Term Hemodialysis: Part I. Ten Years Statistics in the Patients and Blood Access ……………K. Daijo et al… 381

*In vitro* Study on Estrogen-Binding Macromolecules in Castrated Rat Prostate ……………T. Enomoto et al… 393

Studies on Urinary Excretion of Leucine and Isoleucine in Patients with Carcinoma of the Prostate ……………N. Kawamura et al… 401

Leiomyoma of the Kidney: Report of A Case ……………M. Kuroda et al… 403

Occupational Double Cancer: Four Cases of Transitional Cell Carcinoma of the Urinary Bladder and Other Cancers ……………M. Matsushima et al… 409

Three Cases of Carcinoma *In Situ* of Urinary Bladder Simulating Chronic Cystitis……………H. Nakano et al… 417

Histologic Observation on Influences of Estracyt® on Prostatic Cancer. A Case Report of Oral Estramustine Phosphate Administration Followed by Total Prostatectomy……………M. Osafune et al… 429

A Clinical Experience on the Use of FL-1039 (Pivmecillinam, PMPC) in the Complicated and Intractable Urinary Tract Infection……………K. Imabayashi et al… 435

禁 帯 出

〒606 京都市左京区聖護院川原町  
京都大学医学部泌尿器科学教室  
泌尿器科紀要編集部

泌尿紀要  
Acta Urol. Jap.

Published by Acta Urologica Japonica  
Department of Urology  
Kyoto University Hospital  
Sakyo-ku, Kyoto, Japan 606

## 編集後記

文化人類学の泰斗今西錦司京大名誉教授が、汎人類学的とでもいえる立場で教育について書いた素晴らしい論文がある。その中でも忘れられないのは「教育とは、教えるほうにも教える意欲があり、教えられるほうにも教えられる意欲があって、そこにはじめて成立する交互作用的な営みである。」という文章である。

一方、今日多くの教育学者によって、「教育とは学習者の行動に価値する変化をもたらすプロセスである。」という概念が認められている。ここでいう行動とは、動作を伴う行為のみを意味するのではなく、知識や理解や技能から態度・習慣のような情意的なものも含めた広い概念である。そうして「価値ある変化」とは、学習者が教育目標に到達する過程における変化のことである。もちろん、行動に価値ある変化をもたらすのは学習者である。したがって、教員が「教えた」ことが重要ではなく、学習者が「学んだ」ことが重要なのである。

この教育学の専門家による理論はよく理解できるし、まことにもって御尤もである。しかし、今西先生の教育論の方により深く共鳴するのは筆者だけであろうか。(O.Y.)

## 編集委員

石 神 襄 次	前 川 正 信	宮 崎 重
新 谷 浩	園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫
桐 山 畜 夫 (副主幹)	吉 田 修 (主 幹)	

## 購読要項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)前納していただきます。  
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

## 投稿内規(1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。  
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けません。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR など、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
  - A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)  
文献名は正式略称を用いてください。  
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿器科紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
  - B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正是初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付けはいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部, 書留便。

---

泌尿器科紀要 第24巻 第5号 1978年5月25日 印刷 1978年5月31日 発行  
 創刊 稲田 務 顧問 加藤 篤 二 定価 500円(送料別)  
 発行 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要編集部  
 〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)  
 印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入

---